

令和5年度

鳥取県西部広域行政管理組合
歳入歳出決算審査意見書

鳥取県西部広域行政管理組合監査委員

発鳥西監第49号-1
令和6年9月30日

鳥取県西部広域行政管理組合
管理者 米子市長 伊木隆司 様

鳥取県西部広域行政管理組合
監査委員 播間 匡 広
監査委員 今 城 雅 子

令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合歳入歳出決算審査意見の
提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第233条第2項の規定に基づき審査に付された令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合歳入歳出決算書及び附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

1 審査の対象

- (1) 令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合実質収支に関する調書
- (3) 令和5年度鳥取県西部広域行政管理組合財産に関する調書

2 決算審査を執行した監査委員

播間 匡広、今城 雅子

3 審査年月日

令和6年9月2日

4 審査の方法

令和5年度歳入歳出決算書及び附属書類について、関係諸帳簿及び証書類と照合し、計数の審査を行い、あわせて予算の執行状況と事務処理の適否を正したほか、合理的な財政運営がなされているかどうかについて検討した。

5 審査の結果

審査に付された決算書類の計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合し、正確であると認めた。

また、予算は適正に執行されていることを認めたが、その状況及びそれに対する審査意見は、以下の総括に述べるとおりである。

(注)

- 1 文及び表中の金額は、原則として千円単位で表示している。単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合がある。
- 2 文及び表中で用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成比率の合計が100.0にならない場合がある。
- 3 符号等の用法は、次のとおりである。

「－」	……	該当数値のないもの
「△」	……	比較増減で減の場合
「皆増」	……	前年度に数値がなく全額増加したもの
「皆減」	……	当年度に数値がなく全額減少したもの

6 総括

令和5年度一般会計の歳入の総額は57億456万円で、そのうち分担金及び負担金が47億4,616万1千円(83.2%)と、財源の大部分は、組合を組織する市町村からの負担金が占めている。一方、歳出の総額は、56億2,459万1千円で、組合の主要事業の支出費目である消防費が31億6,581万6千円(56.3%)、衛生費が17億2,734万3千円(30.7%)で、この2費目で歳出全体の約87%を占めている。

令和4年度及び5年度で組合が貸し付けを行った最終処分場委託事業に係る濃縮水処理施設建設費貸付金について、令和5年度末現在で約8億円の債権があり、返済期限は令和14年3月となっている。組合は、債権の未回収リスクに備え、濃縮水処理施設に担保設定を行うことと併せ、貸付先企業の財務状況や業績などを毎年度把握され、貸付リスクの管理に努められたい。

また、令和14年度の稼働に向けた次期一般廃棄物処理施設の建設や令和11年度まで、江府消防署移転新築事業を始めとする消防庁舎改修工事等の大規模な事業が計画されているため、事業費の推移等を考慮しながら、退職積立基金についても、退職手当の支給に影響がないよう適切に積立てを行われたい。

最後に、これらのことを踏まえた上で、社会経済情勢の変化及び事業の進捗状況に応じて見直される鳥取県西部広域市町村圏計画実施計画に基づき、引き続き計画的な財政運営に努められたい。

7 一般会計の決算について

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減
予 算 現 額 (A)	5,697,685	5,068,582	629,103
歳入決算額 (B)	5,704,560	5,068,885	635,675
B/A (%)	100.1	100.0	—
歳出決算額 (C)	5,624,591	4,997,083	627,508
C/A (%)	98.7	98.6	—
形 式 収 支	79,969	71,802	8,167
翌年度繰越財源	0	4,163	△4,163
実 質 収 支	79,969	67,639	12,330

決算額は、歳入 57 億 456 万円、歳出 56 億 2,459 万 1 千円で、前年度と比較して歳入は 6 億 3,567 万 5 千円 (12.5%)、歳出は 6 億 2,750 万 8 千円 (12.6%) それぞれ増加しており、予算現額に対する割合は、歳入 100.1%、歳出 98.7%である。

また、令和5年度は、翌年度に繰り越すべき財源がないことから、実質収支は形式収支(歳入歳出決算差引額)と同額の 7,996 万 9 千円となり、前年度と比較して 1,233 万円増加している。

(1) 歳入

年度	予算現額 (A)	調定額 (B)	決算額 (C)	C/A (%)	C/B (%)	不能欠損額	収入未済額
5	5,697,685	5,704,560	5,704,560	100.1	100.0	0	0
4	5,068,582	5,068,885	5,068,885	100.0	100.0	0	0
増減	629,103	635,675	635,675	—	—	0	0

歳入決算額を款別に前年度と比較すると次表のとおりである。

区 分	令和5年度		令和4年度	
	決算額	構成比 (%)	決算額	構成比 (%)
分担金及び負担金	4,746,161	83.2	4,455,906	87.9
使用料及び手数料	49,084	0.9	51,166	1.0
国 庫 支 出 金	79,977	1.4	—	—
県 支 出 金	19,051	0.3	19,260	0.4

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	決算額	構成比 (%)	決算額	構成比 (%)
財 産 収 入	87	0.0	22,222	0.4
繰 越 金	71,802	1.3	41,804	0.8
諸 収 入	158,591	2.8	70,961	1.4
組 合 債	469,600	8.2	207,200	4.1
繰 入 金	110,206	1.9	200,367	4.0
合 計	5,704,560	100.0	5,068,885	100.0

ア 決算状況

当年度の歳入決算額は 57 億 456 万円で、前年度と比較すると 6 億 3,567 万 5 千円（12.5%）増加しており、予算現額に対する割合は 100.1%である。

歳入決算額が増加した主な理由は、旧し尿処理施設（白浜浄化場）の売払いによる財産収入（2,217 万 5 千円）及び財政調整基金からの繰入金（6,178 万 9 千円）は皆減したものの、消防費国庫補助金等（7,997 万 7 千円）及び濃縮水処理施設建設費貸付金元利収入（1 億 210 万 4 千円）が皆増し、市町村負担金（2 億 4,780 万 4 千円）及び消防費特別負担金（4,374 万円）並びに消防施設整備事業に係る組合債（2 億 6,240 万円）等が増加したことによる。

歳入決算額の総額に占める款別の割合は、分担金及び負担金が最も高く 83.2%であり、次いで組合債 8.2%である。

また、不能欠損額及び収入未済額は発生していない。

（2）歳出

年度	予算現額（A）	決算額（B）	翌年度繰越額	不用額	B/A (%)
5	5,697,685	5,624,591	0	73,094	98.7
4	5,068,582	4,997,083	4,163	67,336	98.6
増減	629,103	627,508	△4,163	5,758	0

決算額は 56 億 2,459 万 1 千円で予算現額に対し 98.7%の執行率である。
前年度と比較して 6 億 2,750 万 8 千円（12.6%）増加している。

款別の決算額を前年度と比較すると次表のとおりである。

款	年度	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	構 成 比 (%)	B / A (%)	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
議 会 費	5	1,154	951	0.0	82.4	0	203
	4	1,123	1,045	0.0	93.1	0	78
	増減	31	△94	—	—	0	125
総 務 費	5	205,936	198,776	3.5	96.5	0	7,160
	4	193,589	191,191	3.8	98.8	0	2,398
	増減	12,347	7,585	—	—	0	4,762
民 生 費	5	44,169	41,448	0.7	93.8	0	2,721
	4	44,247	42,928	0.9	97.0	0	1,319
	増減	△78	△1,480	—	—	0	1,402
衛 生 費	5	1,752,467	1,727,343	30.7	98.6	0	25,124
	4	1,652,721	1,605,438	32.1	97.1	2,662	44,621
	増減	99,746	121,905	—	—	△2,662	△19,497
消 防 費	5	3,193,618	3,165,816	56.3	99.1	0	27,803
	4	2,715,451	2,699,898	54.0	99.4	1,501	14,052
	増減	478,167	465,918	—	—	△1,501	13,751
公 債 費	5	490,341	490,259	8.7	100.0	0	82
	4	456,666	456,583	9.1	100.0	0	83
	増減	33,675	33,676	—	—	0	△1
予 備 費	5	10,000	0	0.0	0.0	0	10,000
	4	4,785	0	0.0	0.0	0	4,785
	増減	5,215	0	—	—	0	5,215

ア 決算状況

歳出全体に占める割合は、消防費が最も高く（56.3%）、次に衛生費（30.7%）である。これらは、組合の主要事業の支出費目であり、歳出全体の8割以上を占めている。

また、前年度と比較すると、衛生費では、不燃物処理施設維持・補修事業に係る工事請負費が減少（2,830万4千円）したが、最終処分場委託事業に係る濃縮水処理施設建設費貸付金の増加（1億554万8千円）及び濃縮水処理施設で発生する濃縮水固化物の処分費の追加に伴う廃棄物処分委託料の増加（3,076万2千円）等により、1億2,190万5千円増加となったほか、消防費においても、消防局古峠山多重無線装置更新事業の完了により減少（8,676万3千円）したが、大

山消防署及び米子消防署南部出張所庁舎大規模改修事業に係る工事請負費の大幅な増加（3億1,632万5千円）並びに境港消防署配備の災害対応特殊はしご付消防ポンプ車等の更新により車両購入費が増加（2億302万1千円）したことで、歳出全体では、前年度と比較して増加している。

イ 不用額

不用額は7,309万4千円であり、前年度と比較して575万8千円増加している。

款別では、消防費（2,780万3千円）が最も多く、衛生費（2,512万4千円）と合わせ、全体の72.4%を占めている。

不用額が生じた理由は、需用費、委託料などにおける実績減が主で、その他、入札により残高が生じたものなどである。

8 実質収支に関する調書

年度別の調書における実質収支額は、次表のとおりである。

年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
実質収支額	79,969	67,639	36,201	67,410	62,226

9 財産に関する調書

（1）公有財産

（単位：㎡）

区 分	種 類	令和4年度末 現 在 高	令和5年度中 増 減	令和5年度末 現 在 高
行政財産	土 地	32,916.01	1,004.89	33,920.90
	建 物	24,519.68	145.26	24,664.94
普通財産	土 地	37,434.08	△312.02	37,122.06
	建 物	10,234.74	—	10,234.74

ア 行政財産

（ア）土地

地籍調査に基づく地籍変更により、リサイクルプラザに係る土地（1,004.89㎡）が増加したものである。

（イ）建物

大山消防署庁舎が、大規模改修に伴う消毒室の解体（6.72㎡）により減少したものの、本館及び車庫の改修、増築（151.27㎡）により144.55㎡増加し、また、米子消防署南部出張所庁舎が、大規模改修に伴う本館の改修、増築（0.71㎡）により増加したことにより、全体では145.26㎡増加したものである。

イ 普通財産

(ア) 土地

地籍調査に基づく地籍変更により、リサイクルプラザの進入路（58.46 m²）並びに旧灰溶融施設（エコスラグセンター）の進入路（198.32 m²）及び施設用地（55.24 m²）が減少し、全体では 312.02 m²減少したものである。

(2) 債権

債権の状況は、次表のとおりである。

債権の名称	令和 4 年度末 現 在 高	令和 5 年度中 増 減	令和 5 年度末 現 在 高
濃縮水処理施設建設費貸付金	403,576	408,320	811,896

濃縮水処理施設建設費貸付金の貸付先から返済が開始され、1 億 80 万 4 千円減少したものの、令和 5 年度の貸付金として 5 億 912 万 4 千円増加したことにより、全体では 4 億 832 万円増加し、令和 5 年度末現在高は 8 億 1,189 万 6 千円となっている。

(3) 基金

基金の状況は、次表のとおりである。

基金の名称	令和 4 年度末 現 在 高	令和 5 年度中 増 減	令和 5 年度末 現 在 高
財政調整基金	18,110	33,820	51,930
退職積立基金	1,258,837	△110,180	1,148,657

ア 財政調整基金

令和 4 年度決算剰余金の 2 分の 1 を下らない額となる 3,382 万円を積み立てたことにより増加し、令和 5 年度末現在高は 5,193 万円となっている。

イ 退職積立基金

令和 4 年度に引き続き令和 5 年度分についても、積立金を最終処分場委託事業（濃縮水処理施設建設費貸付分）に組み替え、基金に積み立てないこととしたため、運用利子のみを積み立てることとなったが、退職手当に充当するために取崩したことにより 1 億 1,018 万円減少し、令和 5 年度末現在高は 11 億 4,865 万 7 千円となっている。